

<資料 2>

令和2年8月26日
定例記者会見資料

市立小・中学校の消毒作業に対する シルバー人材センターによる支援の拡充について

新型コロナウイルス感染防止の観点から、市立小・中学校で教職員等が放課後に実施している消毒作業に対して、シルバー人材センターによる支援を拡充する。

補正額 2296万円

■目的：新型コロナウイルスの感染を防ぐとともに、教職員の負担を軽減するため。

■内容

- ・市立小・中学校における教職員による消毒作業の負担を軽減するため、シルバー人材センターによる支援を拡充する（業務委託）。
- ・1学期の消毒作業を支援した施設開放員のチーム（シルバー人材センター）とは別に、本業務を行うためのチームを立ち上げるとともに、委託する作業時間を増やす。

1学期（施設開放員） 各校1日1人×3時間（消毒2時間、施錠1時間）

2学期（専属チーム） 各校1日2人×3時間（消毒6時間）

大規模校の場合1日3人×3時間（消毒9時間）可能とする

- ・必ず消毒すべき範囲について、教職員ではなくシルバー人材センターのチームだけで対応できるよう必要な作業時間を確保。
- ・必ず消毒すべき範囲は、教育委員会のガイドライン※において、1日1回以上、消毒用エタノール等を使用して清掃を行うこととした範囲（ドアノブ、手すり、スイッチなど）。

※新型コロナウイルス感染症に対応した武蔵野市立小・中学校における学校再開ガイドライン

■今後の予定

- ・本業務を行うためのチームを立ち上げ試行し（9月30日まで）、10月1日から本格実施

■問い合わせ

教育部教育企画課 0422-60-1895